

安全安心地域活動支援員の活動日誌

～平成25年5月～

昨年から、総合安全管理課では、安全安心地域活動支援員が活動しています。
実際に安全安心地域活動支援員が行っている活動を紹介させていただきます。

防災・減災スタディツアー

平成25年5月15日、「3.11被災者を支援するいわき連絡協議会」（通称『みんぷく』）が実施している、「防災・減災スタディツアー」に同行してきました。
当日のツアーには、東北復興応援をかねて、福岡県志免町（しめまち）から17名の方が参加されていました。

<ツアーのオリエンテーション、講話>



生き延びるために最低限必要な防災グッズや、災害の種類、住んでる地域によって備えや避難方法が変わることなどの説明はとてもわかりやすく、みなさんも熱心に聞いていました。

<被災現地見学>



震災から2年以上が経過し、津波被災跡地のがれきの多くが撤去されたことで、建物の基礎や写真を見て被害を想像してもらうしかないなど、伝えることの難しさを感じました。



←（みんぷくのHPはこちらをクリック）

非常食の保存の方法

ローリングストックのススメ

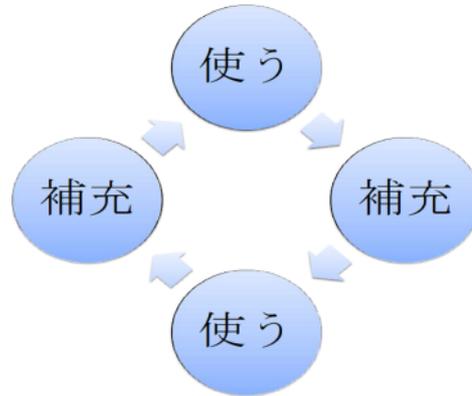
みなさんは、「ローリングストック」という言葉を聞いたことがありますか？
文字通り「回転させながら、蓄えておく」方法で、非常食を保存期限まで置いておくのではなく、日常的に食べては買い足していく方法です。

賞味期限切れで廃棄するムダがなくなります。また、保存する食料を日常の食事を使用できる缶詰などにすることで、特別意識せずに、食料が常時、家にストックされていることになります。それに、食べ慣れた味で安心も得られます。

非常時の美味しい食事は、単に空腹を満たすだけでなく、とがりがちな神経を、食事の満足感で静めてくれる役割も期待できます。

この方法は、食料品以外でも、トイレットペーパーや乾電池など生活用品にも応用がききます。

普段の生活から、いざという時のために備えておくことで、日ごろから、防災を身近に感じる事が大事なんですね。



私は、今回のスタディツアーで初めて知りました。説明を聞いて「なるほど」と納得！
この方法なら、私にもできるかも…さっそく実践！

今回のスタディツアーに同行して思ったことですが、福島市に住んでいる私には、震災のことが非日常的になってきていて、2年前に感じた恐怖やつらさが薄れてきているように感じました。「震災を忘れない」ための、情報を発信し続けることの大変さ、難しさを改めて考えさせられました。